

コロナ禍や大雨など災害のなかで 盂蘭盆会と定例法座



コロナ禍で中止や延期が相次ぎますが、例年夏休みに子ども達が楽しみにしていましたが子ども会も中止になりました。一泊して寝食を共にして過ごすのは、子ども達にとっても非常に楽しみであり、思い出に残る行事だけに残念でなりません。そのような夏でありましたが、盂蘭盆会等の法要行事は縮小して無事に修了することができました。毎月十日の定例法座も中止や再開の繰り返しでありました。

貪は貪欲のことで、貪りの心を表しています。瞋は瞋恚のことで、怒りを表しており、妬みや恨みの心から生じます。痴は愚痴のことで、本来は無知の心を表しています。転じて言うても無駄な事をぼやくという意味になりました。

人には貪・瞋・痴(とんじんち)という三毒がありますので、一生苦しまなくてはなりません。貪は貪欲のことで、貪りの心を表しています。瞋は瞋恚のことで、怒りを表しており、妬みや恨みの心から生じます。痴は愚痴のことで、本来は無知の心を表しています。転じて言うても無駄な事をぼやくという意味になりました。



今年は大雨のなかで勤行は、地域の地蔵盆で子どもさん達に三毒について法話をいたしました。お釈迦様の教えでは、夏休みに

ただ今年は大雨にも悩まされたお盆でありました。年々雨の降り方が激しさを増しているように感じますのは、気のせいではないでしょう。温暖化か何らかの原因による気候変動だとすれば、これから益々大雨には注意しなくてはなりません。

昨今の出来事でわかりやすい例えとしてコロナ禍で例えることができます。昨年を思い出してみてください。未知のウイルスであったコロナで恐怖におびえ騒ぐ。そしてマスクや消毒液、一時はトイレットペーパーまで貪り品薄になり、欲しいものが手に入らなくて妬みや恨みから、他の何かの責任にして怒ります。そして怒りから恨み節など愚痴を続けます。どこまでも貪・瞋・痴が心の中をグルグル旋回して静まることのないのが人間です。今ならコロナのワクチン対応や緊急事態の対応についても同様のことが浮かび上がると思いますが、



披露で別な会場で公演。子ども達のお花童さん達のお寺でのお会場で



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096) 383-4874
FAX (096) 383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

ご本尊は本山から
お迎えしましょう

ご本尊について
のお問い合わせ

参拝部
覚法寺
☎075(371)5181 まで
☎096(383)4874 まで

住職雑記

夏休み中でしたが、地域の地蔵盆で子どもさん達に法話をする機会がありました。その時は四苦八苦についてお話を致しました。四苦八苦とはお釈迦様の教えです。その「苦」についてお話ししました。▼「苦」について探求するに、私たちが思い悩み苦しむ「苦」はどこから生じるのか。苦しむ原因はどこにあるのか、という疑問に対して、お釈迦様の答えは非常にシンプルです。原因は自分の外にあるのではなく、自分の心の中だけです。自分が気にしなければ苦という心境は生じません。しかしメンタル・コントロールを上手く出来ないのが人間です。▼先日ある有名なメンタリストといわれる人がヘイト(差別)発言をして、自分のしたこと過ちに気づき謝罪されていました。「占い師、自分を占うことはできない」という言葉があります。人の心理を読み取るのが仕事のメンタリストも、他人の内面ばかり見ている自分の内面を深く見ることは出来なかつたようです。しかしこれは他人ごとではありません。人間は自分以外の人の欠点ばかりが目につき、自分のことに気づかないことが多いようです。

法名について変更点

覚法寺ではこれまで男性の法名には「釋○○」、女性の法名には伝統的習慣から「尼」をお付けして「釋尼○○」となっておりましたが、男女共通の法名として、令和四年から女性の法名にお付けしていただきました「尼」をお付けしないことに致します。

そもそも「尼」の由来は、二千五百年まえのインドのお釈迦様の時代にさかのぼり、男性の出家者を比丘（比丘）といい、女性の出家者を比丘ニ（比丘尼）と呼んでいたことが由来となっております。そのことから日本では、女性の出家僧侶の方を尼さんと呼び、女性僧侶だけのお寺を尼寺と呼び、尊敬の念をもって慣れ親しんでいました。

しかしながら浄土真宗の本山に於いては十数年前から既に、女性の法名に「尼」を付けることを廃止しております。理由は浄土において、男女の区別は存在しないからです。阿弥陀如来のお姿も、見た目はお釈迦様がモデルなので男性的に見えますが、本来性別は存在しません。

そして時代は更に進み、昨今ではお浄土の事に問わず現世においても、男女を区別する事に対して違和感を覚えるという認識が広まり、今ではダイバーシティを尊重したSDGsの理念

や、LGBTなどセクシャル・マイナリティの方々への理解も深まり、男性と女性を区別することは時代にそぐわない考えといえましょう。そのような事から、法名の「尼」を廃止いたしますが、ご家庭のご意向で伝統的に尼を付けたい方がおられましたら、葬儀の際におっしゃっていただきましたら、これまでどおり「尼」をお付けいたします。

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。

この度はネパール開教地「カトマンズ本願寺」への寄付金として、カトマンズ本願寺支援基金へ5万円を寄進しました。コロナウイルスの影響もあって学校建設のマンパワーや資金が集まらず事業が停滞している状況です。これはSDGsの開発目標の一つである「質の高い教育をみんなに」の支援にも繋がります。今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。

(はちすの会ダーナ基金係より)



(持続可能な開発目標)のバッジ

私がこの言葉を初めて知ったのは三年前のことです、テレビに出ていた有名人や、知人・友人のスーツの胸に仏旗に似たカラフルなバッジを見かけるようになってからでした。何人かの知り合いに「どういう意味があるのか？」と尋ねましたが、その頃は尋ねたほとんどの知り合いが「SDGsのバッジ」ということは知っていても、どういった意味があり、どういう趣旨で胸に付けているのか分からないというものがほとんどでした。その中で簡単な意味を私に説明してくれた友人でも、その時は実際に取り組んでいることはないと聞いていたことを覚えていました。

ただ、後から聞いたことですが、このSDGsのバッジには、バッジそのものに興味を持ち、「SDGsのことを知るきっかけになるように」という意味もあるようなので、バッジを胸に付けることだけでも普及活動の一環になるといえることでした。

しかし今回覚法寺でもSDGsに取り組んでいくことなのでせつ々しくなから、少し意味は違うかもしれませんが蓮如上人が「聖教よみの聖教よます」(お聖教をただ知識として読んでいても読まないことに等しい)とおっしゃられたように、文字や知識などにとらわれ口先だけに、形だけの参加にならないようにし、二〇三〇年と設定されているゴールに向かって自分が達成できることはなんなのか。知り、考え、行動に移すことが大切なことだとあらためて考えさせられました。

(伊津野)



覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動・・・(夏より初秋へ)・・・



全国各地で豪雨被害が起こり 連日の報道で胸が締め付けられる思いでした。梅雨明けが待ち遠しい中、緊急事態宣言が解除されたので例会を開催致しました。

○住職の挨拶 ○DVD 鑑賞…①金子みすゞの詩を中心に自ら作曲し歌い語る“メッセージシンガー・ちひろさん”(めぐみNo.254 参照)

②築地本願寺にてパイプオルガンの演奏“ピアニスト”ハラミちゃん

○お楽しみ会



○夏の子ども会…コロナリスクレベル5になり中止

○8月16日に孟蘭盆会法要が勤修されました。【御講師】 両嚴寺・郡浦 智明師 阿弥陀様を校長先生に例えての、分け隔てなく子ども達の良いところをみているんですよと心温まるお話でした。



○9月16日の例会…お休み

○9月22日～23日…秋彼岸会・永代経法要が勤修されました。【御講師】 観乗寺・松崎 憲英師

※お昼のお齋は中止 (コロナが落ち着いたら再開する予定です。(〜))

SDGsと私

SDGsとは、『持続可能な開発目標』で「誰も取り残されることのない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目標とする取り組みです。この包摂性のある社会とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、地域社会の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。社会的排除の反対の概念であります。

この理念は、まさに浄土真宗の『撰取不捨(すべての者をおさめとって見捨てない)』という教え、『自利利他』の教えである慈悲の精神と全く同じものであります。

今迄、経済発展を優先にし勝ち組を誇張する社会では、慈悲の精神は受け入れられませんでした。しかし昨今、世界各地で未曾有の災害、経済的な混乱も増えていく中で、今までの発展・繁栄の経済社会が永遠のものではないことに、人々が気づき始めました。以前は他国の災害を知っても、自分たちの生活とは乖離した世界の出来事と思っていた事を、今は我

が事として捉えることができるようになりました。そうして、世界中で生まれる行動や支援が被災地・被災者を救う、本当に有難い世界になってきています。

グローバル化が進む中、人類の普遍的な「和」の世界の実現に向けて、私たちひとりひとりが取り組み、活動すべきであると考えます。私も今まで、被虐待児の資金援助活動並びに、東日本大震災、熊本大水害、熊本地震の際のボランティア活動も致しました。更に、SDGsの理念に基き奉仕活動をする会に入会致しました。コロナ禍である為に活動は限られますが、できることを模索しながら取り組んでいます。一人の力は微力でも複数人が力を合わせると大きな力になることを実感しております。

翻つて考えてみますと、昔はSDGsの理念など掲げなくても、それが当たり前前の生活だったと思います。

先人の『おかげさま、お互い様』の思いと行動を見習い尊重しつつ取り組んでいきたいと思うことだと思います。

(音光寺)

SDGs(ゴール十四)

海の豊かさを守ろうとあります。昔の海は、とても綺麗でした。魚を含む海洋生物の中に絶滅危惧種が増える原因はいくつかありますが、その根幹にあるのは私たち人間の生産活動によるものです。海は生命を育む場所であり、海が、それも環境が整っていないければ成り立ちません。本来であれば生物がいきていくための健全な環境が海にはあったはずですが、私たちが何十年と続けてきた急速な開発や生産活動、環境破壊などにより海は汚染されてしまいました。その海の魚の命を私たちはいただいております。

仏教は全ての生き物が尊い命をもっていることを教えています。食事の前には、(いただきます)終わったら(ごちそうさま)私たちの、命を支える無数の命に感謝の気持ちを忘れたくないものです。

(光寺)



十月からのお勤め(晨朝)の時間が七時になりました。

納骨所の終了と新築について

昭和四十年から五十六年間にわたって使用してまいりました覚法寺の納骨所が令和五年をもって終了致します。令和六年に取り壊し、覚法寺会館(旧橋本病院)跡地にエレベーター付きの納骨所を新築いたします。覚法寺門徒の皆様には、今後話が進展すれば、その都度季刊誌でお知らせいたします。



八月一日より、官報法定公告掲載の文章と、納骨所を閉鎖するお知らせを張り出しました。



標準型納骨壇の見本を本堂に展示しています。ロッカー型は無量寿堂二階と同じものを考えております。ご自由に見学してください。

お参りください

報恩講法要

十一月十九(金)、二十(土)日、覚法寺本堂において報恩講法要をお勤めいたします。ご講師は山鹿市常法寺の佐々木高彰先生です。今年も二日間の日程です。お斎は中止ですが、お持ち帰り用に粗飯かお茶菓子を用意いたします。コロナ感染にはできる限り用心しながらお待ちしております。

元旦会法要

令和四年一月一日(土)午前七時より本堂で正信偈のお勤めがあります。引き続き納骨所にて一座法要。

御正忌報恩講

令和四年一月九日(日)より十六日(日)まで、京都の本願寺で御正忌報恩講がつとまります。

毎月16日7時(宗祖親鸞聖人の御命日)お寺に参ろう。門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか?
1冊よりお作り致します。



PRINTING©

株式会社 太陽社

〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
TEL 096-366-1251
FAX 096-364-7672

http://www.taiyo-sha.net

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720